

令和元年度 文部科学省 国立教育政策研究所

教育課程研究指定事業「カリキュラム・マネジメント」(2年次)

<研究主題>

教科等の本質的なねらいとの
バランスのとれたクロスカリキュラムの研究

Study on balanced Cross-Curriculum with the essential aims of subjects.

兵庫教育大学附属中学校

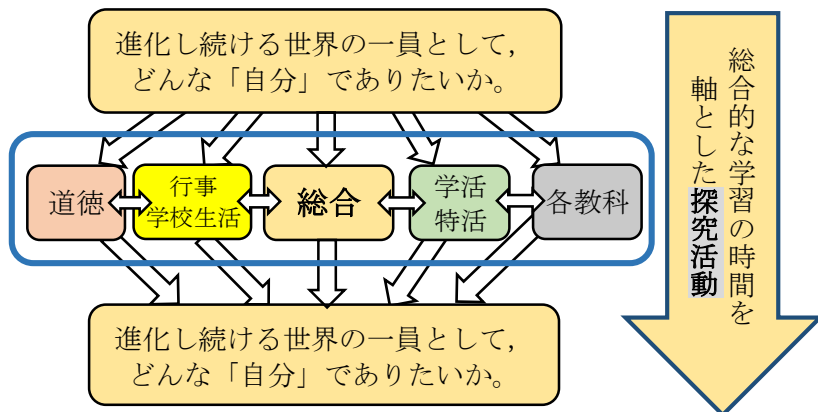
参加費
無料

研究中間発表会のご案内



<本校におけるクロスカリキュラムのイメージ>

【テーマ】オリンピック・パラリンピック × 進化



「クロスカリキュラム」とは？

「あるテーマによって教科・領域等を横断的につなぐカリキュラム」である。設定されたテーマについて関わりのある内容を教科・領域横断的に扱うことで、個々の教科・領域だけでは身に着きづらい資質・能力をも育成しようとするものである。本校では、「総合的な学習の時間」をカリキュラムの軸とし、「オリンピック・パラリンピック（以下、オリ・パラ）教育」をテーマにして、現代社会に求められる資質・能力の育成をはかっている。

課題を受けて、令和元年の取組の「こだわり」は2つ！

中間発表Ⅰ

こだわり①
授業力向上

目指す生徒像

物事を多角的に捉え
やり抜く力をもつ姿

こだわり②
クロスカリキュラム
&オリ・パラ教育

中間発表Ⅱ

日時 令和元年 7 月 4 日 (木)

13:00~17:00

公開授業 英語 社会
授業検討会

講師 昭和女子大学 緩利誠 准教授



同僚性

教員 岡田 健

日時 令和元年 7 月 17 日 (水)

13:00~17:00

公開授業 数学 社会
総合的な学習の時間

講師 文科省 渋谷一典 調査官

会場 兵庫教育大学附属中学校

〒673-1421 兵庫県加東市山国 2007-109 電話 0795-40-2222 FAX 0795-40-2225

研究中間発表Ⅰ（授業力向上）について

13:00～17:30

日程

12:50	13:20	13:50	14:00	14:50	15:00	15:30	15:55	16:00	17:20	17:30
受付	取組の説明 ・全体会	移動	公開授業 (英語・社会)	休憩	授業検討会	班による 質疑・応答	休憩	昭和女子大学 緩利誠先生	指導助言・ 講演会	閉会行事

公開授業／事後研修会

14:00～14:55／15:00～15:30

授業視点① 生徒の主体性は、継続されていたか。**授業視点②** 対話的・協働的な活動を通して、学習が深められていたか。

組 教科	授業者	単元名・題材名
3年1組 社会	藤春 竜也	歴史的分野「冷たい戦争と世界の動き」 生徒自身が立てた問いをもとに、第二次世界大戦後、経済の考え方の違いにより生まれた冷戦という対立構造ができた背景と具体的な対立内容について迫る。
授業力向上 A班 班長 藤春（3年 社会）、副班長 山口（1年 国語） 三井（1年 理科） 山本（3年保健体育） 木戸（2年 英語） + 研究部員		
3年2組 英語	堂本 佳樹	NEW CROWN NEW EDICTION③ Project①「先生にインタビューしよう」 状況・相手に応じた質問内容と、その意図との関係を意識しながら授業を展開する。
授業力向上 E班 班長 橘（1年 社会）、副班長 小松（2年 保健体育） 堂本（3年 英語） 田原春（3年 数学） 寺尾（1年 理科） + 研究部員		

Q. なぜ「授業力向上研修」をカリ・マネの研究と並行して行っているの？

カリキュラム・マネジメントを進めていく上で、昨年度の重要な課題となった一つが「**授業力**」です。いくら教科と教科が教師目線でつながっていても、授業を行う教師の「授業力」が向上していなければ、知識と知識が生徒目線でつながることはありえないのです。

カリキュラム・マネジメントを積極的に進めることで、教師の初心である「**授業で勝負！！**」という根本に戻ることができました。

**指導助言・講演会**

16:00～17:20

演題 授業者の強みを活かし、効果的な授業改善を進める研修等の在り方について

昭和女子大学 総合教育センター 准教授

現代教育研究所 副所長

教育学（カリキュラム論、組織開発論、学力論、ポジティブ教育）が専門分野である。自らの強みに光を当て育むことが幸せにつながるとし、教育に携わるすべての人の「強み」と「やる気」を引き出している。

著書に『イラスト版 子どものためのポジティブ心理学：自分らしさを見つけやる気を引き出す51のワーク』（2017、合同出版）等がある。



ゆるり まこと
講師 緩利 誠 氏

研究中間発表Ⅱ（カリキュラム・マネジメント）について 13：20～17：20

日程

13:00 13:20 13:40 13:50 14:40 14:50 15:40 15:50 17:10 17:20

受付	取組の説明 ・全体会	移動	（総合的な 学習の時間） 探究総合 公開授業①	休憩	公開授業② 数学・社会	休憩・移動	講演会 文部科学省 教科調査官 渋谷一典氏	閉会行事
----	---------------	----	----------------------------------	----	----------------	-------	--------------------------------	------

公開授業①（探究総合）

13：50～14：40

授業場所	授業者	活動内容
図書室	雨宮 久仁 田原春幸誠	「課題発見とプランニングシートの作成」 全校生徒を縦割り班に編成し、共通テーマ「オリ・パラ」の下、探究活動に取り組んでいる。1学期はそれぞれの興味の領域に基づいて社会を取り巻くオリ・パラをめぐる諸問題から課題を見つけ、2学期以降の取組につなげていきたい。本授業では、課題発見に向けたワークショップと、プランニングシートの作成に取り組む。
学習室	木戸 裕美 山本 泰博	
3年1組	藤春 竜也	
3年2組	大塩 由季	
3年3組	紅谷 美香	

公開授業②（数学・社会）

14：50～15：40

年間を貫く問い 進化し続ける世界の一員として、どんな「自分」でありたいか。

探究

オリ・パラ教育 × 進化

授業視点 教科等の本質的なねらいと、クロスカリキュラムを実践することで獲得させたい資質・能力とのバランスがとれていたか。

組 教科	授業者	単元名・題材名
2年3組 社会	安永 修	「グローバル化社会における日本の農業」 オリ・パラにおいて、食糧問題をテーマに「日本の食の進化」について学習している。グローバル化に伴い世界との距離が縮まり、世界から多くの食料が輸入されている。その結果、国内産の農産物が厳しい競争にさらされている現状の中で、日本の農業の未来について考える。
3年2組 数学	田原春 幸誠	「平方根の活用」 オリ・パラを陰ながら支えている看板や広告等のアートの進化を考え、人の感覚や美意識の中に隠れた平方根を探究していくことで真の価値に迫りたい。

※当日配布の板書型指導案には、年間を通して貫く問いや他教科との関連等、詳細等を記載いたします。

指導助言・講演会

15：50～17：10

演題 カリキュラム・マネジメントと総合的な学習の時間の再充実化について

文部科学省 初等中等教育局 教育課程課 教科調査官
 国立教育政策研究所 教育課程研究センター
 研究開発部 教育課程調査官

札幌市立小学校教員、札幌市教育委員会指導主事を経て、2017年から現職。日本各地において、小学校生活科および小・中・高校の総合的な学習の時間に関する研究、及び学習指導要領に基づく専門的・技術的な指導・助言等に当たっている。

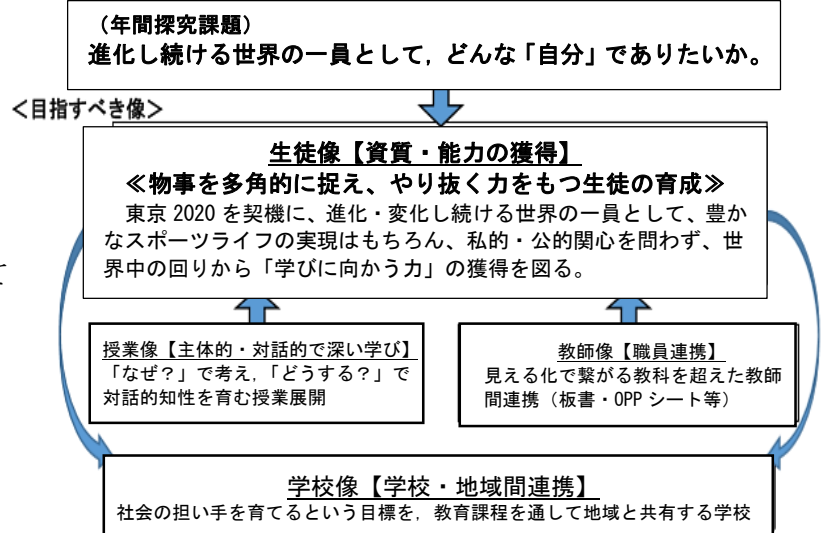


講師

しぶや かずのり
渋谷 一典 氏

本校の研究と目指す生徒像について

東京五輪を契機に、日本だけでなく世界中が進化していきます。生徒たちはそれらの進化に対応するだけでなく、未来を拓いていかなければなりません。そこで本校では目指す生徒像を「物事を多角的に理解し、やり抜く力をもつ生徒」とし、この実現に向けて、教科等横断的なカリキュラム・マネジメントを取り入れました。その手法としてクロスカリキュラムに注目し、研究しています。現代社会における諸課題を解決するために必要な資質・能力を獲得させると共に、これまで偶発的に生まれてきた教科等横断的な学びに必然性を持たせるシステムを確立し、組織として生徒たちの知的好奇心を引き出し、目指す生徒像の育成や主体的・対話的で深い学びの促進へ繋げていきます。



研究に関するアドバイザー



いとう ひろゆき
伊藤 博之 氏

兵庫教育大学大学院 学校臨床科学コース 准教授

「新しい教育内容」（情報教育・メディア教育、性教育など、ごく近年になって、今までの伝統的な教育内容につけ加えて学校教育で扱うべきではないかと考えられるようになって来ている教育内容のこと）のカリキュラム化のための原理的・実践的検討と具体案作りを、学生・院生と共同して行っている。著書出版物として『情報化』圧力とカリキュラムの変容」等がある。

参加の申込について

研究中間発表会への参加の申込は、**下記 QR コードまたは本校ホームページをご覧ください、申込手続きを行ってください。**(<https://www.hyogo-u.ac.jp/middle/>)

当日参加も可能ですが、資料等準備の都合上、可能な限り事前にお申し込みください。

●参加費／無料

●昨年度以前の資料等は当日、会場にて購入可能です。（1冊2,000円）

◆気象警報発令等、急な変更についてはホームページにてご確認ください。



会場のご案内

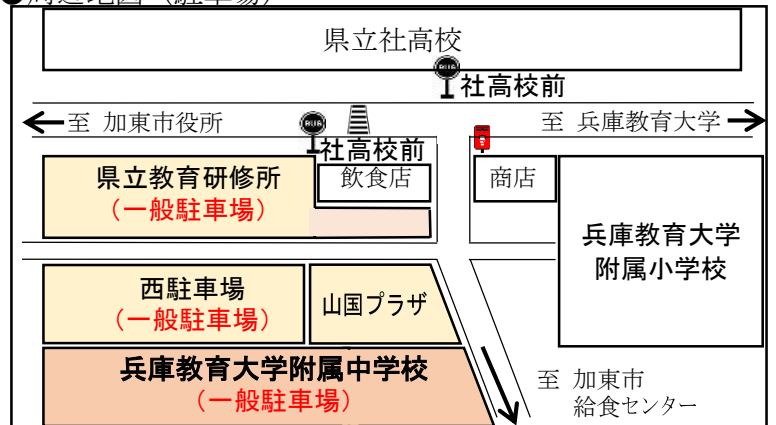
●公共交通機関の場合

JR新大阪駅	バス 72分	滝野社インター	バス 6分	附属中学校	
JR三ノ宮駅	バス 81分	社営業所	バス 7分	社高校前	徒歩 3分 附属中学校
JR姫路駅	バス 60分	社営業所	バス 7分	社高校前	徒歩 3分 附属中学校
JR社町駅	バス 13分	社高校前	徒歩 3分	附属中学校	

●自家用車利用の場合

中国自動車道「滝野社インター」から約7分
※ 駐車場は本校内駐車場または、西駐車場または県立教育研修所をご利用ください。

●周辺地図（駐車場）



問い合わせ先（兵庫教育大学附属中学校 研究部）

E-mail ktaharab@hyogo-u.ac.jp（研究主任 田原春幸誠）

URL <https://www.hyogo-u.ac.jp/middle/>